

まち∞未来ミーティング(溝口公民館) 意見記録

開催日時	令和 7 年 8 月 28 日(木)		19 時～20 時 45 分	開催場所	溝口公民館
参 加 者	伯耆町	7 名			
	住民	6 名			
概 要	・町制 2 0 周年記念映像の視聴・町長から町政提案説明・意見交換				

(参加者意見及び町側回答)

No	参加者意見	町側回答等
移住定住施策	子育て支援を行っても若者が出ていく。 昔は「家を守る」「地域を守る」という意識が強く、U ターンして地域に残る人が多かったが、世代が変わると利便性を求めて外に出る傾向が強い。 行政施策だけでは限界があり、教育や地域の価値観の継承も重要だと思う。	教育では、地域の良さを学び、将来地域に貢献しようという意識を育てている。中学生アンケートでは、できれば町に住みたいという回答が 6 割程度あったものの、進学や就職で町外へ出る現実がある。 小学校～中学校期を通じて地域と学校をつなぐ教育(ボランティアや地域貢献活動)を推進している。中学生のボランティア参加や地域での還元を促す仕組みが始まっている。 全国調査でも「将来、地域の役に立ちたい」という意欲は本町の中学生で高かった。
自治会	自治会加入率の低下への懸念 最近、自治会に入らない人、役員になりたがらない人が増えている。自治会が弱ると地域の防災や行事運営に支障が出る。 行政としてどのように対応しているのか？	転入時に自治会加入のチラシを配布している。 地域の祭りやイベントなどの地域活動を、大人が少し頑張って盛り上げることによって、子供たちが地域につながり活性化すると考える。
人口減少	溝口地区の急激な人口減少・地域活性化衰退の原因を徹底的に解明する必要があるのでは。 地域経済や商店街の衰退が背景にある。街並み(出雲街道の宿場町としての歴史資源)や観光資源を掘り起こし、外部の専門家による診断や補助金活用で磨いていくべき。 ちょっと大胆な対策が必要なのでは。	行政が補助金を出すだけだと、地域の活性化につながらない。 なにも対策をしなかったら、人口減少が進むため、大胆な事業が必要だと考える。 地域と行政が一緒になって検討していく必要がある。

No	参加者意見	町側回答等
風力発電	風力発電計画に関する説明会の在り方について、区長しか発言できないのはなぜか？	最初は区長のみでの会議を行いたいと事業者からあったが、それではオープンな会議にならない。 よって、参加者はオープンにして発言者は区長のみとした。 背景として、他地域の例で住民向けの説明会だが住民以外の方が質問が多く、地元が発言できないこともあったため、地元の意見を聞くための対策。
町政	町長は将来どんな町にしていきたいのか？ 農業や高齢者・介護分野の提案(助っ人・スキマワーク等)などさまざまなことをしなければならないと考える。	「人づくりこそ大事」であり、教育を通じて“社会の一員”としての自立や協働の心を育てることが町の未来につながると考える。 介護分野の「助っ人」的な仕組みや、空き家対策、外部人材の活用など、提案いただいた施策は参考にし、検討・活用していきたい。 人が輝き、町に誇りをもって生活できるようにすすめていく。
防災無線	「役場からのお知らせです。17 時半になりましたので小学生・中学生の方は帰りましょう」という放送に違和感を感じる。 青少年育成町民会議からのお知らせではないか？	暗くならないうちに自宅に帰るように促している。 違和感について、気付くことが大事だと思う。 確認させてもらう。